



議員として初めての年末年始。十二月は議会と各団体との会合等が続き、新年は元旦早朝より新春の会合の連続で時間に追われる毎日です。時間に流されることなく、自分を見失うことなく今年も頑張ります！

滋賀県議会議員

# 田中松太郎

プロフィール ■ 1972年 滋賀県甲賀市生まれ ■ 2015年4月 滋賀県議会議員初当選 ■ 厚生・産業常任委員会、地方創生特別委員会所属



2016年1月 Vol.3

田中松太郎 事務所 甲賀市水口町北脇436-1 TEL.0748-63-5340/FAX.0748-63-5341

田中松太郎 検索

## 平成二十八年を迎え



大寒となり寒さが一層厳しい時期となりました。新年が明け今年も例年になく暖かいお正月でしたが、皆様方におかれましては新春をいかがお過ごしになりましたでしょうか。

さて、昨年は初めての滋賀県議会議員として、多くの皆様にも多岐に渡り大変お世話になった一年でありました。

県会議員としてまだまだ未熟な私ではございますが、本年もひとつひとつ着実に経験と実績を積み上げていくべく、様々な県政の課題に全力で取り組んでまいりたいと思います。

本年も変わらぬお付き合いをよろしくお願い申し上げますとともに、この一年が皆様にとりまして素晴らしい年になりますよう心よりお祈り申し上げます。

## 11月定例会議 一般質問

### 名神名阪連絡道路について

日本列島を東西方向に走る名神高速道路、新名神高速道路、名阪国道の国土軸を、日本海から太平洋まで南北軸で結ぶ広域ネットワークの中軸に位置する名神名阪連絡道路は、平成13年12月に地域高規格道路の調査区間に指定されて以降、何度も進捗や見直しに関する質問が県議会でもなされていますが、具体的な調査報告や実現に向けた進展がないばかりか、三日月知事の所見はもろもろ近年の土木交通部長の答弁内容にも、この事業に対する熱意を感じ取れません。

そこで、あらためて地域高規格道路・名神名阪連絡道路に対する三日月知事の所見をお伺いしました。

また、現状を踏まえた上で、名神名阪連絡道路の整備促進に対する調査結果および進捗や見直しを土木交通部長にお伺いしました。

名神名阪連絡道路に対する知事の所見を伺う

**知事** 名神名阪連絡道路が広域ネットワークを形成し、大規模災害時には迂回路として大きな機能を果たす道路であることの認識は変わっていません。様々な環境変化がある中、一歩一歩、この取組を進めている関係者の努力には、深く敬意を表したいと思います。

**国と三重県、関係市町との連携について** 現状をどのように捉えているか

**知事** 国、県、三重県がそれぞれの役割を担い、連携を取りながら名神名阪連絡道路の調査に取り組んでまいりましたが、進捗状況が見えづらかったこともあり、関係市町と意識のずれや温度差があるように思われているかもしれません。

名神名阪連絡道路の実現に向け、関係市町と連携を取りつつ、その進捗状況が見えるように努力していきたいと思っております。

**広域的な幹線道路ネットワークでの位置づけについて** 現状を踏まえた整理、整備効果は明確にされたか、整備手法はどこまで検討されたか

**土木交通部長** 新名神高速道路が供用してからの地域の状況変化において、現況交通の課題として交通流動や観光の現状、防災機能があげられ、その効果の整理等を行っているところです。まずは、その路線の役割、必要性をしっかりと整理したうえで、整備手法の検討につなげていきたいと考えています。

**国、三重県、滋賀県それぞれの役割分担と調査の進捗について**

**土木交通部長** 国では、広域的な幹線道路ネットワークを形成する道路について調査・検討を進めており、県では、滋賀、三重それぞれの区域での地域交通ネットワークを形成する県管理道路の現状把握や課題に対する検討を行っています。現在の調査の進捗については、国では、名神名阪連絡道路に求められる機能・役割、具体的には、物流、医療、観光等の地域の課題や路線の必要性等について整理し、県では、地域交通ネットワークの検討として、課題箇所の概略設計を実施しているところです。

**地域高規格道路以外の代替案にかかる安全面、環境面の検討、調査について**

**土木交通部長** 平成20年に新名神高速道路の一部供用し、甲賀地域に大型車両が増えているとの意見もあり、名神名阪連絡道路へアクセスする道路における課題箇所の改善策の検討について、地域高規格道路の調査費を使って検討を行いました。

**結果、改善の必要性が認められるものについて** 具体的な整備段階において、道路整備アクション

名神名阪連絡道路とは

名神名阪連絡道路とは、名神高速道路と新名神高速道路、名阪国道との連結により、東西方向道路網の機能強化や広域的な交流を促進し、更に北陸自動車道、伊勢自動車道と一体となって、日本海から太平洋に至る南北方向の地域連携軸を形成する地域高規格道路として「候補路線指定」・「計画道路指定」を経て「調査区間」に指定されて以降、公共投資抑制の動きの中で事業化への進展は全く今日に至っていません。

## 人の交流、物資の流通を活性化させる…地域高規格道路、名神名阪連絡道路とは

### ◆名神名阪連絡道路とは

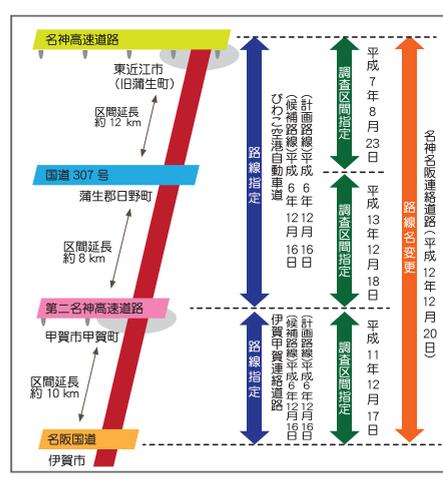
名神名阪連絡道路は、名神高速道路と新名神高速道路、名阪国道との連結により、東西方向道路網の機能強化や広域的な交流を促進し、更に北陸自動車道、伊勢自動車道と一体となって、日本海から太平洋に至る南北方向の地域連携軸を形成する地域高規格道路として「候補路線指定」・「計画道路指定」を経て「調査区間」に指定されて以降、公共投資抑制の動きの中で事業化への進展は全く今日に至っていません。

本連絡道路は広域的な産業、経済、文化の交流、周辺地域の社会基盤の強化と地域振興に大いに寄与することが期待されます。

また、大規模災害時に於いて、緊急輸送、避難道路としての機能面からも重要な道路であり、喫緊の課題です。



※[名神名阪連絡道路の整備区間指定を実現する会]要望書より



プログラムの反映されることもあり、それぞれの予算で実施しています。

**今後の名神名阪連絡道路の整備促進の見通しについて**

**土木交通部長** 名神名阪連絡道路は、大規模な事業であり、整備手法の確立のみならず、事業主体の調整を含めた体制の整備についても解決すべき課題が多く、国、三重県と連携しながら、現在行っている調査・検討をさらに推し進める必要があると考えています。

